

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
 を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
 よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 26 年 3 月 17 日 (月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位) (治療濃度範囲)	採血時刻	備 考 (製品名、商品名 等)
Y648 7 (3M815)	エベロリムス	血液 (EDTA-2K 加) 1.0	g	冷蔵	2~6	特	ラテック ス凝集比 濁法	免疫抑制剤とし てシクロスポリン と併用した場合 Trough 濃度 3.0~8 (ng/mL)	次回投与直前 (Trough 濃度)	他の検査項目と の同時依頼はでき ませんので、ご注 意ください。本検 査の特定薬剤治療 管理料の適用対象 は、免疫抑制剤の みです。 サーティカン&ヨ

特：特定薬剤治療管理料

●エベロリムス

免疫抑制剤 エベロリムスの血中濃度測定を受託開始いたします。

臓器移植は、シクロスポリンをはじめとしたカルシニューリン阻害剤による免疫抑制療法の導入で飛躍的に成績が向上しました。さらに近年では、作用機序が異なる免疫抑制剤を組み合わせることで、より少ない副作用で効果の高い免疫抑制療法が可能になりました。

免疫抑制剤エベロリムス（商品名：サーティカン）は、海外で広く使用されているmTOR 阻害剤です。日本では心移植と腎移植が適応疾患として認められ、シクロスポリンやステロイド剤と併用されています。副作用回避のために各薬剤の用量調節を行う際は、薬剤相互作用の影響があるため、各々の血中濃度管理が重要になってきます。エベロリムスの血中濃度については、血中トラフ濃度が3.0ng/mL以上の患者では、3.0ng/mL未滿の患者に比べて急性拒絶反応の発現率は低く、また推奨される治療濃度の上限は8ng/mLとされています。

▼ エベロリムスの適応疾患

- 心移植
- 腎移植

▼ 関連する主な検査項目

- シクロスポリン

▼検査要項

検査項目名	エベロリムス
項目コード No.	Y648 7
検体量	血液 1.0 mL
容器	g (EDTA-2K 入り)
保存方法	冷蔵保存してください。
保存安定性	7日間
所要日数	2～6日
検査方法	ラテックス凝集比濁法
基準値 (単位)	免疫抑制剤としてシクロスポリンと併用した場合 Trough 濃度 3.0～8 (ng/mL)
採血時刻	次回投与直前 (Trough 濃度)
診療報酬	B001 特定薬剤治療管理料
検体取り扱い方法	指定の容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存してください。
備考 (製品名、薬剤名等)	他の検査項目との同時依頼はできませんので、ご注意ください。 本検査の特定薬剤治療管理料の適用対象は、免疫抑制剤のみです。 サーティカン &ヨ

●参考文献

深見 春恵, 他: 医学と薬学 70 (2): 317～321, 2013. (検査方法参考文献)
打田 和治: 今日の移植 25 (6): 526～530, 2012.